



2011-12 年度 R I のテーマ「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」
R I 会長 カルヤン・パネルジー (Reach Within to Embrace Humanity)
八戸南ロータリークラブ会報

例会日：毎週木曜日 12：30 例会場：八戸パークホテル

ガバナー 小山内 康晴 会長 三川 博 幹事 榊 清蔵 会報委員長 岡山 明美
ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub@hi-net.ne.jp
RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org

第 1780 回例会記録 会員卓話例会
2012 年 3 月 15 日 (木) 点鐘 12：30

レポート NO.1234

1780 回例会要旨

- ・会長要件 (夢について)
- ・幹事報告
- ・各委員会報告 (出席、親睦)
- ・次年度委員長発表 熊谷会長エレクト
- ・会員卓話例会 工藤会員

会長要件 三川会長

前回は引続き、夢その 2 です。前回は大まかな夢について、今回はその本質、核心部についてです。我々は夢を毎晩見ますがわからないことが多いです。その理由は夢には夢の文法、法則があります。現実世界は主語、述語などがはっきりしていますが夢は違います。しかし夢の世界にも独自の理論があります。(資料)1)法則として、 縮合。1 人の人物に多くの役がある。例えば A さんが弟であり友人である等、事物についても同じで、教室だったり職場だったりとなります。

遷移。ある人物や事物に与えられた価値観が別の人物に移動する。例えば A さんが嫌だと思ふ感情が別のものに移し変えられる。A さんの犬に対する嫌悪感等です。 視覚化。シンボル化、抽象概念が具体的な物に投影され、イメージによって表される。恋が鯉とか平和が鳩などです。 二次加工。色々なものが出て複雑な仕組みを夢の中で辻褃合わせをする事です。社会生活に無い特別な理論を持って作られます。夢の法則にはまる様に、 ~ であったり、 と を足して複雑に加工する等です。

2) 夢の意味には浅いもの、深いものと階層があり、ユングは三階建てと言っています。第一階層は表面的な意味で、平和は鳩である等です。第二階層は個人的無意識でシンボルの言語。色々なシンボルが出てきます。第三階層、集合的無意識、シンボル



出席報告 木村出席委員長

正会員 43 名出席免除会員を除く会員 34 名中
本日の例会は免除会員 4 名を含む 29 名出席率 76%
前々回例会：メ-キップ 0 名で出席率 87%

と元型。神話とかのレベルになり。深い洞察がないと理解できません。

3) 夢のシンボル。視覚映像化は 1 対 1 ではありませんが、空を飛ぶ夢は永遠の生命感を表していたり、自分の死は重大な環境変化。トイレは自己表現願望、旅は老いと死、試験は成功と失敗、学校は未解決な課題・・・etc。例えば芸術ではバイオリンソナタ『悪魔のトリル』は (ジュゼッペ・タルティーニが) 夢の中で悪魔がバイオリンを弾いていた、起きてすぐそれを書き写したと言われます。インスピレーションを与えたのです。

4) 夢とシュールレアリスム。フランスのブルトンはフロイトの夢や無意識の研究を基にシュールレアリスム思想を打ち出した。シュールレアリスム絵画は夢の世界描写のようで、夢のシンボルとして絵がある奇妙な絵で、ダリの絵などがそうです。

5) 夢分析は夢のある作業で、夢を考えることは自分を開く可能性があります。ロータリークラブも夢の世界のように広がって行く事を祈念しています。

幹事報告 榊幹事

- * 創立記念例会の出欠を取っています。
- * R Y L A 参加者推薦のお願いが来ています。5 月 26 日 青森です。
- * 麻薬・覚醒剤乱用防止のポスターが届きました。

ニコニコ・ボックス 松田親睦委員長

三川会長:工藤会員卓話よろしくお願ひします。



次年度委員長発表

熊谷会長エレクト

クラブ奉仕：村上幹男副会長
出席：吉田立盛委員長
親睦：岡山明美委員長
会報：慶徳征一委員長
広報 IT：久保田幸造委員長
規定審議：長嶺康廣委員長
会員組織：村上副会長
会員増強：橋本精二委員長
会員選考：原田正彦委員長
R情報：三浦晃委員長
クラブ奉仕：小原隆平会長エレクト
職業奉仕：平光清美委員長
社会奉仕：野澤俊雄委員長
環境保全：米内安芸委員長
新世代：木村哲也委員長
国際奉仕：山田政信委員長
米山奨学：赤穂一夫委員長
WCS：高橋伸典委員長
姉妹クラブ：大澤一實委員長
R財団：榊清蔵委員長



地区協議会が4月22日青森で開催されます。各委員長と会長・幹事・会計、入会2年以内の会員も出席義務者となっています。締切が3月30日です。出欠確認を致しますので、宜しくお願い致します。

会員卓話 工藤十四子会員



こんにちは。皆さん工藤の話、また剣道かと思われるかもしれませんが。他の楽しいお話があればよいのですが・・・。私と兄が東京へ行く時はずっと大宮に着く迄、剣道の話です。

剣道では「刀法」、竹刀を刀と思ひ同じく大切と言う事。「心法」、心です。試合の前に勝ちたいと思うと心乱れます。負けまいぞと臨みます。もう一つ「礼法」があります。相手を叩きますので『叩かせて頂きます』との思い。自分を叩いて頂いたの思いです。

3月17日(日)若かりし頃、高校生の時のビデオが、当時30分でしたが、『RABが伝えたい映像』で短かったです。放映されました。かわいらしい姿が映っていました。当時の厳しい根性、徹根性と下駄を履いて歩いたことを思い出しました。父が試合前に肩をたた

いた映像や、兄が若い頃ハンサムだった映像。20cm背が高かったら梅宮辰夫に負けないと身臍頂で言っていました。当時5:30起床しランニング、6:30道場で掛かり稽古、学校へ行き、昼休みに兄が来て掛かり稽古。放課後、道場で浪打先生がいらして稽古、帰宅が8時。8:30に道場で稽古。2回の稽古では日本一になれないと3、4回。そのあいまに勉強でしたが、赤点は取らなかったような気がします。日本一は遠かったです。県の春季大会2回、高体連3回、新人戦2回優勝しています。インターハイではベスト8でした。日本一になるには並大抵ではなれません。ですから子ども達にはどんな小さな大会でも一番になるのは大変ですから誉めます。

商売もあり子供もあり辞めていましたが、孫も出来、25年ぶりに剣道を始めたのです。八戸の武道館にも行きます。段々に父や兄に似てきたのか子どもを見ると『剣道やらないか』と言うようにしています。

千葉の松風館や武道館にも行きます。全日本剣道連盟の講習会などにも参加します。若い時は勝ちたいとか、打ちたいと思いましたが、今は執着しないで、相手を敬い、交剣知愛の輪を広げるようにと思っています。皆様の中に健康の為に竹刀を振るとか孫に礼儀作法をという方は大歓迎です。やんちゃな子どもも3ヶ月もたてばきりっと正座し、落ち着いた子になります。お申し出下さい。



親睦委員会・出席委員会の皆様、事務局ご苦労様です。

